

発言内容の今後の取扱い

令和3年7月27日
全員協議会資料

番号	2	氏名	ささき れいじ 佐々木 玲慈	テーマ	都市と人口をシェアするという浜田の形 (浜田の地形・立地・歴史に学ぶ)
提案内容など	<p>広島市と連携して、昼は広島で働き、夜は浜田に住み、人口をシェアするまちづくりに取り組んではどうか。</p> <p>浜田自動車道に広島への通勤・通学に使えるバスの専用レーンを作る。</p> <p>浜田に住むお母さんが発信できる労働環境の整備。</p> <p>小さい家とスペースを与える。学生に調査研究を依頼、企業立地奨励事業費を使用。</p>				
三浦	総務文教委員会で協議の参考にする。(定住対策)				
沖田	定住、関係人口に関するテーマとして総務文教委員会で協議する。				
西川	広島ベッドタウン化について、テレワークも含めて業種も検討し、産業建設委員会で可能性を探る。				
村武	関係人口等のまちづくりについて、他の方の意見も併せて取り組みたい議員と一緒に取り組んでみたらどうか。その場合、私も取り組みたい。				
川上	交通環境の整備は必要。加えて、浜田市を広島市のタウンシティ化する構想は少子高齢化の時代が求めているものと感じる。意見をもとに産業建設委員会で検討すべき。				
柳楽	産業建設委員会で検討する。				
串崎	考え方はおもしろい。浜田自動車道の料金の減額から考えてはどうか。				
小川	人口減少・定住化対策全般に関わる提案であるため執行部側に投げかける。個別課題は産業建設、総務文教にそれぞれ振り分けて検討する。				
野藤	提案の実現性について、議会、担当委員会で調査研究する。				
上野	広島へ通勤される方が多い、聞き取り調査をし、一般質問で取り上げたい。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	現実的には厳しいと感じる。まずは浜田道、江津道を無料化から。				
布施	総務文教、産業建設委員会で協議。				
岡本	将来に交通インフラが整備される状況を予想する。大都市圏を視野において、将来の浜田市のベッドタウン化は予測できるものであり、都市建設計画審議会において諮ってみてはと考える。				
芦谷	広島圏を活かす交流人口や関係人口の増加。2居住地域・3居住地域(仕事、夜間、余暇や休日)などを進める、人口の維持に向け市として大胆な施策を打ち出すべきなどを総務文教委員会で協議。				
永見	人口をシェアするまちづくりの取組については、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	広島との人口シェアについては総務文教委員会で協議してはどうか。大きな案件だが、将来的には人口規模により検討。				
道下	大きい取組であるため、全議員で勉強してみても。				
田畑	発想は良いが、現実的には難しい。				
西田	スケールの大きい政策的考え方なので、浜田市側から島根広島両県や国の関係機関に働きかけられるか議会として協議する。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村					
牛尾	産業建設委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	3		
氏名	さいとう はるこ 齋藤 晴子	テーマ	城山登山口回りの整備
提案内容など	城山広場のツタが絡みついている現状を改善してほしい。 家族で楽しめる目新しい遊具を設置しては。		
三浦	産業建設委員会で調査する（観光振興）		
沖田	城山については、過去にも複数一般質問で取り上げられていたので、議員各位の判断において一般質問で取り上げる。		
西川	産業建設委員会で、登山道の周辺の状況を調査し、整備について執行部に申し入れる。		
村武	以前から浜田城のことを取り組んでおられた布施議員、野藤議員、が取り組まれたらどうか。		
川上	城山周辺の整備は必要。しかし、城山周辺の整備を全市民がどのように受け止めているかの実質調査から進めることが必要。総務文教委員会で検討すべき。		
柳楽	市民ボランティアの結成につなげたい。		
串崎	担当課と話を詰める。		
小川	都市建設部所管の産業建設委員会で対応を協議。		
野藤	城山周辺はさまざまな法律、規制があるので実現できるか調査研究する。		
上野	対応等の議論を進める。		
飛野	議員活動に活かす。		
笹田	公園整備は城跡の雰囲気を持しつつ、家族で公園を満喫できる方法で推進していくべき。		
布施	産業建設委員会で協議。		
岡本	開府 400 年事業は、ふるさと再発見につながったと思っている。これを機に城山広場を整備して、市民や旅行者の居場所づくりへの改善を産業建設委員会で図られるものとする。		
芦谷	登山道の整備、環境の美化、歴史的拠点として整備を進めるために、教育委員会に整備方針の明示を求め、委員会で議論する。（総務文教、産業建設）		
永見	登山道整備について、産業建設委員会で協議する。		
佐々木	観光の視点だけでなく、提案にあるように市民の憩いの場として検討すべきではないか。検討は城山活用に詳しい議員。または所管する委員会など。		
道下	清掃ボランティア組織の立ち上がりを望む。産業建設委員会で協議。		
田畑	城山周りの保安林の実態調査を産業建設委員会から執行部へ提案。		
西田	行政（予算）と市民（まちづくり）の協働のまちづくりを推進するための協議の場を議会が設ける。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	総務文教委員会の所管事務調査事項として取り上げ、その経過および結果について発言者に報告する。		
牛尾	産業建設委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	4	氏名	たかはし 高橋 たつや 達也	テーマ	誰もが安全で安心できる暮らしについて
提案内容など	<p>消防団員の報酬水準を上げることで増員につながらないか。 訓練がきついため入団を躊躇する人に対し、運動会のように競いながらできる実践的な訓練を導入しては。 学校を建設する際に立地の安全性を考慮しているのか。 通学路の拡幅ができないか。 四中統廃合と小学校建て替えの計画に意見交換会の内容が盛り込まれていない説明であった。</p>				
三浦	総務文教委員会で協議の参考にする（消防団）総務文教委員会で調査する（通学路整備 / 学校統合）				
沖田	4 中統廃合については、過去にも複数一般質問で取り上げられていたので、議員各位の判断において一般質問で取り上げる。				
西川	通学路の安全確保について、議会から教育委員会、都市建設部へ確認、対応を申し入れる。				
村武	個人的に取り組む方がおられなかったら、総務文教委員会で取り組む。				
川上	団員不足は議会でも問題として取り上げている。重大な問題として、学校統合と同様に検討。該当委員会で検討すべき。				
柳楽	総務文教委員会で検討する。				
串崎	担当課で検討。				
小川	総務文教委員会で消防団活動の見直し、通学路安全対策、学校統合問題の3点に関係個所と協議する。				
野藤	防災の視点から調査検討する。				
上野	団員不足の対応や地域の実情に沿った学校統廃合について議論を進める。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	<p>消防団員数については、この意見だけでなく根本的に改善しないと団員増加につながらない。 学校については、安全面について確認している。 四中統廃合、美川小建設に関しては、地域の意見を聞きながら対応できることはすべき。</p>				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	地域と執行部としっかりと協議し、総務文教委員会においてもより良い方向を模索してほしい。				
芦谷	総務文教委員会で協議する。（消防団の団員確保、処遇改善、参加したくなる消防団とするためあり方の検討、学校の安全性・通学路・学校統合など地元や関係者への丁寧な説明が必要）				
永見	消防団員の増員については、総務文教委員会で協議。学校の建設関連は、産業建設委員会で協議する。				
佐々木	消防団員の報酬などについては総務文教委員会で検討。学校の安全性と通学路の件は佐々木で答えが用意できる。				
道下	総務文教委員会で協議しては。				
田畑	他市を調査し、報酬水準を上げることを総務文教委員会で提案。				
西田	所管委員会で検討する。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村	総務文教委員会の所管事務調査事項として取り上げ、その経過および結果について発言者に報告する。				
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	5	テーマ	「すくすく」の跡地をボールが使える遊び場にしよう ※資料あり
氏名	さとう ひとし 佐藤 仁		
提案内容など	すくすくの跡地を利用して公園のない松原町にボールが使える遊び場を作ってほしい。		
三浦	総務文教委員会で調査する（すくすくの跡地利用 / 公園のあり方）		
沖田	福祉環境委員会で今年行った要望が「公園整備」だったこともあるので、福祉環境委員会で協議する。		
西川	すくすくの跡地利用計画に、公園整備を検討するように議会から申し入れる。		
村武	同じ思いの議員がいれば、ぜひ一緒に実現に向けて動いていきたい。		
川上	跡地を有効利用する提案について、検討が必要。また、子どもたちが必要とする運動広場については早急に調査し、提案も含め早期の結論が出せるよう該当委員会で取り組むべき。		
柳楽	ボール遊びのできる場の提供については、他の地域でも声がある。研究が必要と考える。		
串崎	担当課で、検討しできることであれば、対応されたい。		
小川	都市建設部にも関連するが、教育委員会所管の総務文教委員会を中心に実現可能性を含め対応を検討。		
野藤	法律上の1人当たりの公園面積は充足しているが、地域格差はある。調査検討する。		
上野	子どもの声がする遊び場は必要であり、議論を深めていく。		
飛野	議員活動に活かす。		
笹田	跡地利用については、しっかり議論していくべき。		
布施	総務文教委員会で協議。		
岡本	子どもの居場所づくりの必要性を感じていることから意見には賛成である。しかし併せて使用する上の秩序とルールは守ることを求めたい。実現に向けて総務文教委員会で協議してはどうか。		
芦谷	子育て環境づくりからも公園、遊び場などの整備充実が必要であるため、産業建設委員会で協議。		
永見	跡地利用については、産業建設委員会において協議。		
佐々木	切実な意見として総務文教委員会で検討してはどうか。		
道下	一般質問で取り上げたい。協議するなら産業建設委員会で。		
田畑	大切なことであり、早急に産業建設委員会から整備を市へ促す。		
西田	「すくすく」跡地活用検討委員会を地元・若者・女性を中心に立ち上げるよう議会から提案する。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	福祉環境委員会が主体となって子どもたちの要望状況を把握し、「一日議会」の状況と併せ担当課、行財政改革推進課に報告し、発言者に経過報告する。 高校生までの意見・要望が、各地域のまちづくり計画や市の施策にどう反映されているのか、どうすれば反映されるのか、所管事務調査事項として取り上げる。		
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	6	テーマ	ゴミステーションのありかた
氏名	やまね 山根 しおん 織音		
提案内容など	ごみステーションの鳥獣被害による環境悪化や形状にばらつきのある現状に対して浜田市内のゴミステーションを頑丈な統一された形状のものにしては。利便性を可視化するために、浜田市のごみステーションマップを作成しては。		
三浦	福祉環境委員会で調査する（ゴミ捨てのあり方）		
沖田	福祉環境委員会の所管でもあるが、現状で自治会などが管理運営を行っていることを踏まえると全議会で研究会を行う。		
西川	ゴミステーションの統一化について、福祉環境委員会で他市の例なども調査研究し、導入を検討するよう執行部に申し入れる。		
村武	森谷さんのゴミの意見も併せて、個人的に取り組む議員がいなければ、福祉環境委員会で取り組む。		
川上	ごみステーションの設置については、環境悪化を防ぐ意味でも必要なことは理解できる。設置環境により規格を統一することは難しいが、鳥獣に荒らされない施設の設置は必要であり、該当委員会で検討すべき。		
柳楽	福祉環境委員会で研究したい。		
串崎	景観等も考慮すべきである。地域性があるので、担当課、支所で地域に出向き話し合いが必要。		
小川	環境問題なので福祉環境委員会が担当し担当課と協議、検討。		
野藤	規格の統一は難しいが、改善に向けて情報提供は可能。		
上野	地域の実情に合った対策を議会で論じる。		
飛野	議員活動に活かす。		
笹田	まちづくりにおいて、ゴミステーションの設置は統一化を図っていくことも必要。		
布施	一日議会で質問した議員に対して、上から目線と言った議員に模範質問できると明言されたので、その議員に9月定例会議で取り上げてほしい。		
岡本	ごみステーションのあり方の提言は、良いと思っている。市議会議員として地域で取り組んでいるが置き場など住民のコンセンサスを得るむずかしさが大きな課題である。		
芦谷	提案のゴミステーションの設置やカラスなど鳥獣忌避ネット？の調達について福祉環境委員会で協議		
永見	ゴミステーションについて、福祉環境委員会において協議し調査する。		
佐々木	福祉環境委員会で実現に向け早急に検討すべき。		
道下	一般質問で取り上げたい。協議するなら総務文教委員会で。		
田畑	統一化は設置場所（地域）の実情もあり難しい。ごみステーションは町内で管理するためマップ作成は難しい。		
西田	福祉環境委員会を中心に議会側から執行部に申し入れ（提案）をする。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	福祉環境委員会の所管事務調査事項として取り上げる。私見では、網をかぶせる式のごみステーションにはそれなりの設置理由があるのではと推測している。		
牛尾	福祉環境委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	7	氏名	いわもと 岩本 しゅうか 柊花	テーマ	浜田市と韓国の地方都市の共通点から考える新しい地方外交
提案内容など	<p>政治面でも少子高齢化や女性の社会進出といった日韓で共有できる話題で、韓国の地方都市と浜田市が連携を取り、意見共有ができる場を設けることで互いの問題解決につながるのでは。</p> <p>島根県が始めた関係人口を増やすための取り組みを、地方外交にも生かせないか。韓国の地方都市と連携を結び、関係人口を増やすことで浜田市のことを思い、考えてくれる韓国の人を一人でも多く生み出せないか。</p> <p>互いの国の意見に聞く耳を持てるよい機会になり、知識の共有、視野の拡大につながるのでは。新しい視点から物事を考えられるようになることで、よりよい政策を立てることが可能になるのではないか。</p>				
三浦	自身から情報提供できることもあるため、意見交換したい。				
沖田	総務文教委員会で協議する。				
西川	提案のあった韓国の地方都市との交流について、総務文教委員会で検討し執行部へ申し入れる。				
村武	国際交流だが、関係人口の視点で、2の意見と一緒に取り組みたい。				
川上	提案の内容は評価できる。近くて遠い国であることは周知のとおりで、地政的問題に関わることは困難だが、民間における交流に力を注ぐことは必要であり、議会として共有すべき案件。				
柳楽	総務文教委員会で検討。				
串崎	良い提案であるが、歴史もある。積極的な検討するべき。				
小川	国際交流については所管する総務文教委員会が担当し、現状認識と今後の方向性について回答する。				
野藤	浜田市も友好都市協定を結んだ都市はあるが、国際政治と密接な関係がある。交流の働きかけは必要。				
上野	以前からの交流などを掘り起こし、対策等の議論を進める。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	浜田市からアプローチして、都市間交流を探っていく必要がある。				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	世界の人々と平和について理解を深める政策は必要。次代を担う若者もしっかり考え行動してほしい。				
芦谷	総務文教委員会で協議する（北東アジアの玄関口、県立大学、港湾のある浜田市として、国際交流、自治体外交を進めるべきで、外国人研修生確保など市として国際化を一層進める）。				
永見	総務文教委員会において、協議し調査する。				
佐々木	外交の問題だが市として何か取り組めるのか、所管委員会で協議。				
道下	総務文教委員会で協議しては。				
田畑	良いことを言われたが、議会として動くことは難しい。				
西田	議会と浜田国際交流協会との連携を政策提案ができるくらいまで、情報共有する。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村	定住関係人口推進課に具体化を検討するよう議会から呼びかける（職員に岩本さんの話を聞いてもらう機会をセットする）。				
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	8	氏名	たなか ゆき 田中 夕貴	テーマ	浜田市の新しい学習スペース
提案内容など	<p>浜田駅の近くに学習スペースをつくることで、利便性が高く、利用者の増加につながると思われる。</p> <p>利用可能な時間を延ばし、1人の時間制限をなくし、多くの人が使える、管理の行き届いた新たな学習スペースをつくることで、学力向上にもつながる。</p> <p>また、交流スペースも併設することで、利用者の増加や地域貢献にもつながる。</p>				
三浦	総務文教委員会で調査する（学習スペースの確保）				
沖田	浜田商工会議所から、岩多屋跡地の活用についての要望を受けて、市としての検討方針が出されていることから、産業建設委員会で引き続き進捗状況の確認、議員間で協議する。				
西川	ニーズを調査した上で、石央文化ホールなど駅前の既存の公共施設の利用について検討するよう、議会から執行部へ申し入れる。				
村武	関係人口等のまちづくりと一緒に考えていけばいいと思う。2の意見と一緒に取り組みたい。				
川上	高校生に学習スペースが必要であることは理解する。提案の浜田駅近くへの設置の前に、高校近くの中央図書館の利用時間等を検討する等の必要性がある。調査(アンケート)を行うなど該当委員会で検討すべき。				
柳楽	総務文教委員会で検討する。				
串崎	学力を上げるためにも担当課で対策が急がれる。				
小川	岩多屋等の空き店舗の利活用を含めた駅南側の整備構想に関する組織立ち上げも視野に入れた検討が必要。学習スペースは教育委、駅南整備は都市建設のため、総務文教委員会、産業建設委員会で分担。				
野藤	現在提案中でもあり、賑わいづくりの拠点になるよう実現に向けて努力する。				
上野	聞き取りを行い、議会として対策を講じる。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	今ある図書館、文化ホールなど公共施設の利用時間の改正をすれば、対応可能。				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	新たな学習スペースを求めることは理解できる。日頃、若者の皆さんからスポーツや音楽活動など居場所について相談を受けているが、利用に当たり秩序は守ってほしい。総務文教委員会で協議しては。				
芦谷	子育て環境の充実、若い人の定着の面からも提案の学習スペースを確保する。浜田駅前、公民館など公共施設を活用するなどを総務文教委員会で協議する。				
永見	浜田駅近くの学習スペースについては、総務文教委員会において協議し調査する。				
佐々木	総務文教委員会で協議。				
道下	重たいテーマなので、全議員で協議する場を設ける。				
田畑	図書館の利用も含め、総務文教委員会で協議。				
西田	公共・民間の空きスペース（もったいない施設・空間）を洗い出すよう議会から市へ要望する。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村					
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	9	氏名	うへだ 植田 まよ 真代	テーマ	人権教育としての性教育の重要性
提案内容など	<p>性教育が幼少期から行われるよう学習機会の創設のサポートが必要では。多様性を認め、ジェンダーギャップに対する取り組みをすることで、より誰にとっても暮らしやすい浜田になるのではないか。もっと気軽に性に関して学ぶことのできる環境づくりが重要。</p> <p>年齢関係なく地域の人と一緒に学べるようにするなどの取り組みを進めていただきたい。</p>				
三浦	議員研修会でテーマとして取り扱う				
沖田	村武議員が過去に質問されたことがあるので、再度9月に取り上げられたらどうか。				
西川	総務文教委員会で取組課題の一つとして取り上げ、ジェンダーに関する全般的な勉強をして、人権に関する提言に結びつける。				
村武	以前から、調査研究している課題である。9月定例会議個人一般質問で取り上げたいと考えている。				
川上	意見には同意できる。性に触れることが良くないこととしていた過去の日本を転換することがなかなかできない状態。必要な環境づくりを進めるべく該当委員会で検討すべき。				
柳楽	9月定例会議で質問に取り入れる可能性もある。				
串崎	難しい問題だと感じる。対応策を考えるべき。				
小川	人権、教育に関することで総務文教委員会が責任を持って関係部署と協議する。市としての現状認識、議会の見解、今後の対応について回答が必要。				
野藤	浜田市は人権教育を基底に据えた義務教育をしている。さらに進める。				
上野	全議員で勉強会、研修を行い、議論を深める。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	性教育については早めに教育することは大切。その方法について教育委員会と協議をする必要がある。				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	取り組むべき。総務文教委員会と福祉環境委員会で検討されては。				
芦谷	教育方針などにきちんと位置づけるためにも総務文教委員会で協議する。				
永見	人権教育としての性教育の重要性について、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	所管がどこになるかわからないが、植田さん自身も活動しておられ、一緒に検討していけないか。				
道下	福祉環境委員会で協議。				
田畑	性教育は必要であり、勉強会をするなどして取り組むべき。				
西田	福祉環境委員会の所管事務調査で取り上げる。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村					
牛尾	福祉環境委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	10	氏名	ひらおか しゅん 平岡 瞬	テーマ	浜田市でのリモートワーク（テレワーク）の推進について
提案内容など	<p>地方創生の一環として地方に移住した場合に補助金を出す施策が新しく始まっている。テレワークやリモートワークの方が補助対象になった。浜田市でそういったことを今後やる予定があるのか。やっていただきたい。</p> <p>移住してもらえれば浜田市の税収が上がり、人口も増え、関係人口の増加も見込める。リモートワークで浜田に住んだまま仕事ができると若者に伝わると人口流出も抑えられるのでは。</p>				
三浦	総務文教委員会で協議の参考にする（定住対策）				
沖田	定住、関係人口に関するテーマとして総務文教委員会で協議する。				
西川	産業建設委員会でリモートワーク推進による移住、定住の促進について調査研究し、執行部への提言に結びつける。				
村武	関係人口等のまちづくりと一緒に考えていけばいいと思う。2の意見と一緒に取り組みたい。				
川上	意見は理解できる。提案内容を検討し、効果の生み出される方策を該当委員会で提案すべき。				
柳楽	定住促進の観点から総務文教委員会、雇用の確保の観点から産業建設委員会で協議。				
串崎	最近の流れである。平岡さんの力を借りるべき。				
小川	高速情報網の整備が進み通信環境の充実が図られることで改善が見込まれる。基盤整備と定住化施策について総務文教委員会で担当する。				
野藤	現在高速通信網の整備を急ピッチでやっている。ハードは整備されるので、UIターンのメニューを充実する。				
上野	全議員で勉強会、研修を行い、議論を深める。				
飛野	今一番急がれる施策。議員活動に活かす。				
笹田	平岡さんにアドバイザー的な役割をしていただき、全庁挙げて早急に取り組むべき。				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	良い提案である。産業建設委員会で検討されては。				
芦谷	コロナ後の施策としても、市が具体的な施策を打ち出す必要があるため総務文教委員会で協議する。				
永見	総務文教委員会で協議する。				
佐々木	光ケーブルも整備されることもあり、活用策も含め検討すべき。				
道下	総務文教委員会で協議。				
田畑	雇用の確保の面からも大切なことであり、産業建設委員会から市へ進めるよう提案。				
西田	リモートワーク（テレワーク）推進戦略会議を立ち上げるよう個人一般質問で執行部に要請する。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村	産業建設委員会の所管事務調査事項として取り上げ、調査・研究を進める（テレワークやリモートワーク推進によるサテライトオフィス開設の事例研究を進め、企業訪問の際、提案できるようにする）。				
牛尾	産業建設委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	11	テーマ	駅前 <small>の</small> 岩多屋 <small>の</small> 跡を観光 <small>的</small> 、歴史文化 <small>的</small> 、教育 <small>的</small> に 貢献する場所に
氏名	あゆかわ 鮎川 よしひで 義英		
提案内容など	<p>青川に簡単な釣り堀を作って広島<small>の</small>家族連れを呼び込んで<small>は</small>。 岩多屋<small>の</small>跡地である浜田で一番目立つところには何か浜田<small>市</small>の役に立つ施設になってほしい。 あのスペースに、学生と市民と教授が集まり、懇談できるような場所を、県立大学があるまちとしてはぜひほしい。また、先ほど高校生が言われた学習スペースにも利用できるかと思う。 道の狭い箇所を拡幅してほしい。</p>		
三浦	産業建設委員会で協議の参考にする（駅前跡地利用 / 観光振興）		
沖田	浜田商工会議所から、岩多屋跡地の活用についての要望を受けて、市としての検討方針が出されていることから、産業建設委員会で引き続き進捗状況の確認、議員間で協議する。		
西川	岩多屋跡地については、今後執行部から提案があるので、今回のご提案も念頭に協議を行う。		
村武	関係人口等 <small>の</small> まちづくりと一緒に考えていけばいいと思う。2の意見と一緒に取り組みたい。		
川上	提案は該当委員会で検討すべき。しかし、特に岩多屋跡地の活用については取り壊し <small>の</small> 方法などを十分に検討し、早急な判断を行うことは困難と考える。		
柳楽	総務文教委員会で検討する。		
串崎	釣り堀りはおもしろい。駅前でもあり、岩多屋跡地活用専門のグループを立ち上げ、検討すべき。		
小川	観光振興等は産業建設だが、岩多屋跡地の活用については横断的な検討組織の立ち上げも含め検討が必要。		
野藤	交流人口や観光人口の増加に向けた実現可能な提案をする。		
上野	聞き取りの機会を設け、議会として対策を講じる。		
飛野	直面した検討事項。議員活動に活かす。		
笹田	岩多屋 <small>の</small> 購入については、適正な価格でないと取得すべきではない。市民の理解が得られない。		
布施	総務文教、産業建設委員会で協議。		
岡本	市民が集う居場所づくりの必要性を思うことから、総務文教委員会で検討されては。		
芦谷	岩多屋 <small>の</small> 有効活用について産業建設委員会で協議。		
永見	岩多屋 <small>の</small> 跡地利用については、産業建設委員会で協議する。		
佐々木	民間所有であり、活用が可能かどうかも含め、有効な活用策を執行部と協議。		
道下	重たいテーマなので、全議員で協議する場を設ける。		
田畑	取得、解体に大金がかかるため難しい。		
西田	駅前商店街 <small>の</small> 空き店舗活用策を含む「中心地人通り構想」を協議する機会が必要。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	市担当課に報告し、市担当課に発言者への対応を依頼する。		
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	12	テーマ	市民と市議会、そして子どもたちと共に、浜田市子ども条例をつくろう！～子どものあたり前が守られる、子どもにやさしいまちを目指して～ ※資料あり
氏名	くりす 栗栖 まり 真理		
提案内容など	<p>今を生きる子どもたちの尊厳と権利を保障する浜田市子ども条例の制定を強く望む。</p> <p>ふるさとを愛する人を育むふるさと郷育も、子どもの権利を保証し幸せな子ども時代を過ごせる浜田であることが大前提。また子どもたちに育てたい主体性や自己肯定感など、教育が目指す人格形成も、子どもの権利保障と直結している。</p> <p>市民一日議会で、子どもの意見を聞く場が保証されたことは、とても意義がある。</p>		
三浦	議員連盟のような形（有志議員）で取り扱う。自身が事務局を担っても良い。		
沖田	総務文教、福祉環境委員会どちらも関わるテーマであることや、個人一般質問においても子ども、教育への質問は多いことから全議員で協議する。		
西川	こども条例の制定について議会で勉強会を開催し、浜田市としての方向性を協議して今後の対応を検討する。		
村武	以前から、調査研究している課題である。9月定例会議個人一般質問で取り上げたいと考えている。		
川上	提案された子ども条例の制定は早急に行う必要があるものと判断。また同時に、子どもを育てる親や地域住民の道徳観を育む必要性を強く感じる。まずは道徳観の普及から行えるよう該当委員会で検討。		
柳楽	議会全体か所管委員会で研究し、提案すべきと考える。		
串崎	担当課で、研究してみるべき。		
小川	総務文教委員会で条例化の必要性、実現の可能性等を検討し、方向性を回答する。		
野藤	他の自治体の事例も踏まえ、より良い条例制定ができるよう努力する。		
上野	総務文教委員会で協議する。		
飛野	議員活動に活かす。		
笹田	教育委員会と協議する必要がある。		
布施	総務文教委員会で協議。		
岡本	市民一日議会でなくても、子どもの意見を聞く場はあると思っている。権利の乱用を危惧する。条例制定の要望については、総務文教委員会で検討されてはと思う。		
芦谷	提案の子ども条例は、子どもを産み育てる、若い人の定住に強烈なメッセージとなるため総務文教委員会で条例化を検討する		
永見	浜田市子ども条例の制定について、総務文教委員会で協議する。		
佐々木	子ども条例について、執行部と協議から始めてはどうか。		
道下	一般質問で取り上げたい。協議するなら総務文教委員会で。		
田畑	大切な事例であり、福祉環境委員会で検討する必要がある。		
西田	総務文教委員会として条例提案をすべき。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	福祉環境委員会において、「子ども条例の制定」が政策提言・討論のテーマとなり得るか検討を行う。		
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	13	テーマ	人口減少・少子高齢化の浜田市 コロナ禍だからこそインターネット環境の整備が必要
氏名	もうり 毛利 まつみ		
提案内容など	デジタル化が進みインターネット環境も整い、リモートで仕事ができるようになった。しかし田舎の暮らしは憧れだけでは行き詰まる。 若い人たちが地方で働ける場とゆとりある子育て環境が必要と考える。 ただ、自宅での仕事は孤立する可能性が大きいいため、インターネット環境が整った職場が提供できれば、そこを利用したり自宅でしたりすることで、家族関係の構築、異業種の方との出会い、地元の方も利用すればなお交流が広がるのではないだろうか。企業を誘致して社員が家族で移住することも良い。		
三浦	総務文教委員会で協議の参考にする（通信環境整備）		
沖田	定住、関係人口に関するテーマとして総務文教委員会で協議する。		
西川	平岡さんのご提案と併せて産業建設委員会で検討する。		
村武	定住対策として取り組むと良い。		
川上	現在の世相の中で、提案された環境整備は必要。まずは、必要な環境、活用できる公共施設の選択など基礎的調査から該当委員会で検討すべき。		
柳楽	定住促進の観点から総務文教委員会で協議。		
串崎	インターネット環境については、特に力を入れていくべき。		
小川	総務文教委員会で担当し協議検討する。		
野藤	移住コンサルジュや悩み相談など、移住後の支援策の充実はもっと必要。		
上野	移住・定住につながる。全議員で勉強会や研修などを行う。		
飛野	今、一番大事な施策。議員活動に活かす。		
笹田	必要なことであるが、どれくらいの費用がかかるのか調査する必要がある。リモートワークの件と一緒に協議してもいい。		
布施	総務文教委員会で協議。		
岡本	これからを考える上に参考になる。総務文教委員会で検討されたらと思う。		
芦谷	コロナ後の施策としても、市が具体的な施策を打ち出す必要があるため総務文教委員会で協議する。		
永見	インターネット環境の整備について、総務文教委員会で協議する。		
佐々木	光ケーブルが整備されることもあり、可能性について執行部と協議。		
道下	UI ターン対策の重要課題で地域とのコミュニケーションが大きな課題。総務文教委員会で協議。		
田畑	雇用の確保の観点から産業建設委員会で先進地を参考に取組を促す必要がある。		
西田	光回線の整備でインターネット環境が整えば、浜田の特色・資源が活かせるリモートワーク、UI ターン戦略会議を議会側から提案してみてもいい。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	産業建設委員会の所管事務調査事項として取り上げ、調査・研究を進める（テレワークやリモートワーク推進によるサテライトオフィス開設の事例研究を進め、企業訪問の際、提案できるようにする）。		
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	14	氏名	みしま あつひろ 三島 淳寛	テーマ	政策や計画の決定の過程を可視化してほしい ※資料あり
提案内容など	<p>会議録を作成し、開示請求があれば開示できるものは市のHPに公開しては。会議の内容が公開されていれば、誤った判断材料をもとに決定したり、必要な判断資料がないまま最終的な判断が下されたりという危険性が減る。公正性や透明性の確保を図り、市民に信頼される市政の推進に資することを旨とする必要がある。</p>				
三浦	総務文教委員会で継続的に状況確認する。*先般の陳情審査の内容と同様のため				
沖田	6月定例会議の総務文教委員会付託の陳情審査で採択になっているため、その都度、委員会で検討状況など確認されてはどうか。				
西川	総務文教委員会で同様の内容の陳情について採択しているので、今後の執行部の対応について監視し情報公開のあり方を協議する。				
村武	個人的に取り組む議員がいなければ、総務文教委員会か行財政改革特別委員会で取り組むのはどうか。				
川上	市政の基本となる庁議などの情報公開は、公正性や透明性は担保できるものと考えますが、全てを公開することが適当かどうかは行政側の判断であり、議会側での判断は難しいと思うが、議会で討議する必要はある。				
柳楽	総務文教委員会で検討する。				
串崎	すべて公開するよう努力するべき。				
小川	すでに6月定例会議で採択された陳情と同趣旨の内容であり、議会としての意思はすでに示しているので回答は不要。				
野藤	協議する資料が誤っていれば問題。議会のチェック機能をもっと充実する必要がある。				
上野	総務文教委員会で議論を進める。				
飛野	議員とし受け止め今後の活動に活かす。				
笹田	今でも最低限の公開はされていると認識している。				
布施	総務文教委員会で協議。				
岡本	理解できないため、議会では取り扱わない。				
芦谷	市政は市民のものであり、原則公開、可視化、説明責任を果たす、このような姿勢は確立すべきであるため、総務文教委員会で協議。				
永見	政策や計画の決定の家庭の可視化について、総務文教委員会で協議する。				
佐々木	陳情も出された経緯はあるが、所管委員会で執行部と協議。				
道下	総務文教委員会で協議。				
田畑	可視化するには限度があり、公開は難しい。				
西田	6月定例会議で総務文教委員会に陳情が出され、採択した。今後の市の取組を注視すべき。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村					
牛尾	総務文教委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	15		
氏名	なんじょう 南條	たつや 達也	テーマ 明日へつながる祭り（イベント）を企画したい
提案内容など	その日で終わる催しではなく、その日以降につながる継続性のあるイベントで、地元で起業、自営などで活躍する方々がいきいきと活動できるようなイベントができるよう協力してほしい。 (告知、会場確保、費用面、来場者の負担などへのアドバイス、支援)		
三浦	総務文教委員会で協議の参考にする（キャリア教育の推進）		
沖田	総務文教、産業建設委員会、どちらにも関することでもある関連性が多岐にわたる内容だったと思うので全議員で協議する。		
西川	南條さんが企画するイベントについて、産業建設委員会より執行部へ情報提供して協力を検討してもらおう。		
村武	個人的に執行部と協議したい。		
川上	提案は、必要性・効果などを調査検討して提案につなげられるよう該当委員会で取り組むべき。		
柳楽	産業建設委員会で検討する。		
串崎	イベントのあり方について検討が必要		
小川	産業建設委員会で担当課と検討し、回答。		
野藤	市民何でも相談などの窓口の充実を進める。		
上野	適切に運営されるよう支援について論じる。		
飛野	議員とし受け止め今後の活動に活かす。		
笹田	民間でやっていただくことを前提として、今ある支援策で、できる支援はすべき。		
布施	産業建設教委員会で協議。		
岡本	熱意は理解するが、つながるためにも、もっともっとアピールして取り組んでほしい。議会として、執行部はもとより関連機関に対しても連携について助言をしていきたい。		
芦谷	提案のように、市民と行政の協働が必要で、市民や団体組織が主体となって活躍できる態勢をつくることのできるよう産業建設委員会で協議。		
永見	継続性のあるイベント企画については、産業建設委員会で協議する。		
佐々木	支援制度などがよくわかるものを執行部に示してもらったところから。産業建設委員会で協議。		
道下	産業建設委員会で協議。		
田畑	産業建設委員会で現状を認識し、イベントを検討。		
西田	商店街活性化やイベント補助事業等の情報を正しく提供し、同じ考えを持つ若い人たちの追い風を起す環境を創り出す。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村			
牛尾	産業建設委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	16		
氏名	もりたに 森谷 まさあき 公昭	テーマ	浜田市民に課される労働と環境・衛生について
提案内容など	常識・非常識は流動的である。 町内の溝掃除や草刈りを市民がするには限界がある。浜田市が予算をつけてすべき。		
三浦	福祉環境委員会で調査する（ゴミ捨てや草刈りのあり方）		
沖田	行政がすべての地域住民主体の清掃活動をことは、あまりにも極端に思うが、高齢化により住民自治活動の維持が難しくなっている現状は理解できる。住民自治組織のあり方として「6」ごみステーションの問題と併せて全議員で協議する。		
西川	草刈りについては中山間地域の大きな課題なので、中山間地域振興特別委員会で他市の事例なども調査し対応を検討し執行部へ申し入れを行う。		
村武	山根さんのゴミの意見も併せて、個人的に取り組む議員がいなければ、福祉環境委員会で取り組む。		
川上	最終的に施設・場所等の草刈りは行政責任で行うことになると思うが、現状は住民パワーによるところが多い。少子高齢化の進行等を調査し必要な措置ができるよう該当委員会で検討すべき。		
柳楽	総務文教、福祉環境、産業建設委員会で検討する。		
串崎	10年先を見据えて検討するべき。		
小川	提案内容が多岐にわたっているので、まちづくりは総務文教委員会、環境問題は福祉環境委員会というように振り分け対応を含めて検討する。		
野藤	浜田市は限られた財源で市民との協働で事業を行っている。住民である以上権利と義務の観点から行うべき。		
上野	地域の実情に合った対策を論じる。		
飛野	議員として聞く。		
笹田	草刈り、溝掃除の全てを浜田市がするとなると2000万円の経費がかかると言っていたが、どうなのか。高齢化が顕著な地域から協議すべき。		
布施	福祉環境委員会で協議すべきと思うが、発言者はすべてが浜田市が行うべきだと発言されたが、その内容で一日議会で私以外に質問された議員に9月定例会議で取り上げてほしい。		
岡本	常識・非常識は流動的であるとは思っていない。市民ができることは、市民がすることは、財政面から協力をお願いするべきと思う。全員協議会で議論しては。		
芦谷	自治会のあり方（役割、費用負担など）を再構築すべき。草刈りなどは自助、共助、公助をどのようにするのか再構築が必要であるため、総務文教委員会、自治区の特別委員会？で協議		
永見	福祉環境委員会で協議する。		
佐々木	草刈りの負担は市民にとっても大きな問題なので、使いやすい補助ができないか。		
道下	産業建設委員会で協議。		
田畑	地域でできることは地域で実施することが望ましい。できない部分については検討が必要。		
西田	地域によっては限界を超えている。予算のつけ方と事業のあり方を議会として精査。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	「交通の便の確保」と「溝掃除、草刈り」問題については、市主導による対策会議的な組織を各々立ち上げ、対策を検討するよう議会から市長に提言すべきと思う。		
牛尾	福祉環境委員会で取り扱う。		

発言内容の今後の取扱い

番号	17	氏名	みやもと みほこ 宮本 美保子	テーマ	健康寿命延伸に向けての取り組み
提案内容など	<p>平均寿命、健康寿命は県下で最下位、がん検診の受診率は無料なのに低い。 食生活改善推進協議会の活動に若者の参加が少ない。 議会でも健康長寿延伸について協議していただきたい。 市報に今まで以上に掲載が必要。 食生活改善推進協議会の養成講座を浜田だけでなく各地域で受講できるようにしてほしい。子どもの食育指導について、教育委員会から学校と食生活改善推進協議会の連携を促してほしい。 はまチャレの朝ごはんの項目をもっと濃くしてほしい。 食育ネットワークの組織と一緒にあって取り組みたい。</p>				
三浦	福祉環境委員会で協議の参考にする（食育 / 健康対策）				
沖田	健康寿命の延伸というテーマで福祉環境委員会にて調査、研究する。				
西川	食生活改善推進協議会の活動の課題について福祉環境委員会で調査し、必要な事項を執行部へ申し入れる。				
村武	個人的に執行部と協議したい。				
川上	健康対策、食育等提案については該当委員会で調査・検討し必要な措置を提案すべき。				
柳楽	福祉環境委員会で調査研究を行う。				
串崎	宮本さんに講師をお願いし、色々な場所で話してもらう。				
小川	福祉環境委員会から執行部へ投げかけ、対応を協議し回答する。				
野藤	優先順位はあるが、できること、しなければならないことは取り組む。				
上野	対策等の議論を進める。				
飛野	議員活動に活かす。				
笹田	対応できることからやるべき。				
布施	福祉環境委員会で協議。				
岡本	要請については理解した。議会も執行部も一緒になって推進すべきと考える。				
芦谷	食育、食生活、健康づくり、介護予防などに一体的な施策を構築するため、福祉環境委員会で協議。				
永見	健康寿命延伸の取組みについて、福祉環境委員会で協議する。				
佐々木	市民の健康についてとても大事な提案と感じ、所管委員会で検討する。				
道下	福祉環境委員会で協議。				
田畑	がんの検診率を上げ、健康寿命を伸ばすために福祉環境委員会から執行部に働きかける。				
西田	福祉環境委員会として意見・要望を精査すべき。				
澁谷	常任委員会で、検討する。				
西村	発言者の提案・要望事項等について、すべて福祉環境委員会の所管事務調査事項として取り上げる。				
牛尾	福祉環境委員会で取り扱う。				

発言内容の今後の取扱い

番号	18	テーマ	介護予防事業（総合事業）における浜田市の取り組みの不備について ※資料あり
氏名	ありた やすお 有田 康夫		
提案内容など	<p>浜田市の福祉への取り組みは遅れている。</p> <p>既存の介護事業所に頼らず、行政の責任で介護予防の事業に取り組まなければならない。</p> <p>関連団体が浜田市にはない。浜田市のHPには趣旨説明が載っていない。</p> <p>介護予防の事業計画が浜田市にない（広域行政組合ではなく浜田市がつくるもの）。</p> <p>まず計画を策定しなければならない。</p> <p>資料館などの箱物ではなく本当に市民に必要な制度にお金を使ってほしい。</p>		
三浦	広域行政組合並びに福祉環境委員会で調査する（介護予防事業）		
沖田	第8期介護計画が策定され、その中にも地域包括ケアは重点項目でもあるので「17」の健康寿命延伸と併せて福祉環境委員会で調査、研究する。		
西川	福祉環境委員会で浜田市の現状について調査し、必要な申し入れを行う。		
村武	個人的に執行部と協議したい。		
川上	指摘については実情を確認し、必要な措置を促せるよう該当委員会で検討すべき。		
柳楽	福祉環境委員会で研究したい。		
串崎	実態把握が必要。		
小川	介護予防の根本姿勢を問うもので振り分ける必要はないと思うが、検討するとすれば福祉環境委員会。		
野藤	取り組まなければならないことは、取り組んでいく。		
上野	福祉環境委員会で協議、調査する。		
飛野	執行部答弁がないので一方的な判断はできないが明確、具体的な意見なので、明快な答弁の上、必要なら議論も。		
笹田	浜田市の話も聞く必要があり、それから対応策について協議すべき。		
布施	福祉環境委員会で協議。		
岡本	指摘される浜田市の事業計画書の存在を確認した。予防事業内容の差異は両市の広域において相互活用できる事からその不備を感じていないが、新たな要請から追加が求められるようであれば、柔軟に対応できる文言に整備するよう担当課に求めたい。広域行政組合議会において共有し確認をしたい。		
芦谷	介護事業者の参画による介護事業計画を策定する。保険者（広域行政組合）と構成市（浜田市・江津市）の連携と役割分担が必要であることを福祉環境委員会で協議。		
永見	介護予防事業の取組について、福祉環境委員会で協議する。		
佐々木	所管委員会で執行部と協議。		
道下	福祉環境委員会で協議。		
田畑	福祉環境委員会で事実の確認をする。		
西田	議会から浜田市に質すべきところがあれば、申し入れをする。		
澁谷	常任委員会で、検討する。		
西村	福祉環境委員会の所管事務調査事項として取り上げ、発言者の発言の一つ一つについて正しいかどうか、事実かどうかの確認を行った上、その後の方向性については検討する。		
牛尾	福祉環境委員会で取り扱う。		

はまだ市民一日議会の反省点等について

はまだ市民一日議会実施後の発言者・傍聴者アンケートに寄せられた意見及び議員の感想・改善点については以下のとおりです。

1 発言者・傍聴者アンケートに寄せられた意見

(1) 気づきや発見

- ・浜田市に多くの問題があるわけではないと思った。問題よりは改善点だと感じた。
- ・議員が積極的に質問されている感じが好印象でした。
- ・城山を守る会の立ち上げなど、議員さんの質問に新たな想いを持った。
- ・学生がしっかりしているのに感心した。
- ・議員の皆さんがしっかりと聞いて頂き共感を持てた。
- ・若い方の考え方、思いが聞けた。自分の地域と同じ問題があるのだろうと思う。
- ・同じ様な考え方が多い事に気がつかされました。まとまれば力になると考えます。
- ・発言者がとても多くいたこと。特に子どもの発言が多く「子どもの力」がまちづくりにつながると改めて思いました。
- ・議員の皆さんとの勉強会の必要性を感じた（他分野の発言も含めて）。
- ・質疑応答が難しかったです。
- ・浜田市でもごみステーションの動きがあることを知りました。
- ・自分の知らないことをたくさん知れ、いろんな人の意見もきけたのでいろんな考えが広がった。
- ・議員が好意的（陳情や請願とちがい）。

- ・老若男女いろいろな世代の方々の発言があったことに驚き、こういう場は必要だなと思いました。
- ・市民の視線から様々な提言が出るものだなあ、と感じました。
- ・自分では気づかない問題があった。
- ・発言しやすい環境（雰囲気）であったと思いました。
- ・意見を述べる必要性を感じた。
- ・議員の方の質問する人が決まっていて、色々な議員の質問を聞きたかった。お年の方は、質問すらできないのですか？
- ・議員の方は、この意見をどう受けとめているか表明した上で質問した方が立場がはっきりしてわかりやすいのではないのでしょうか。私たちも言っているのですが実現できない夢は愚の骨頂です。

この事については、ここまで話し合ったがこの点やこんな所が問題で先に進んでいな

い等の説明があってもよいのでは。

- ・5分では少ない方、答えが得られていない方もいたように感じた。
- ・今回のように1か所に大人から子どもまで幅広い年齢が集まる機会が必要だと感じました。市民のつながりを作ることが新しい市への提案にもつながると感じました。
- ・生徒さんも調査などしてしっかりした発言をしていたことに驚きました。また市民の疑問や提案の発信する場があることに素晴らしく思います。色々と勉強になります。
- ・「浜田をよくする会」(60名)に参加しており参考になった。
- ・孤立の問題、発言が多く聞かれた。ネットインフラ、集いの場の重要性。
- ・発表内容をいくつか組み合わせて、実現可能な事がありそうだ。市民、企業を巻き込んで、活気を演出してほしい。
- ・いろんな視点があつてためになりました。
- ・浜田を思う、熱い人がいる事、自分の知らない事がたくさんある事。
- ・テーマが身近なもの、中学生、高校生の思いを話された事は、とても大切と考えました。この視点、大人はどう対処するのか。
- ・浜田の負の部分が少しわかりました。皆さんで頑張りましょう。
- ・市民目線の発言に多様性を感じ、初めてでしたが有意義な会でした。

(2) ご意見・ご感想

- ・貴重な機会をありがとうございました。学生生活で経験できないことが多くあつてうれしかったです。
- ・1人10分は良かった。個人的提案を伝える事は市民として持ち続けたい。賑やかな浜田市に向けて老いた身ではあるが前向きに進みたい。
- ・同じ発言者が出ない形で再々やってほしい。
- ・議員さんのそれぞれの質問、大変だった事と思います。今日参加した事、とても良かったと感じております。ありがとうございました。2部に分けられた事で後半は遅い入室でも良かったのではないかと思います。
- ・5分は少し短く、色々の意見を聞く会としては不十分と思います。次回あるとすれば大きなテーマを決めると良いと思います。
- ・発言5分は短過ぎる。
- ・とても良い機会を頂きました。色々な方とつながれるチャンスを頂けたと感じます。
- ・本日の提案が前に進むことを願っています。
- ・少し緊張しましたが、とても楽しかったです。
- ・このような場を設けていただいてありがとうございました！！
- ・がんばれ

- ・ 発言者が緊張でカチカチになっているのかと思いましたが、どの方も堂々とした態度で発言され、議員の方々も肩の力を抜けるようなやさしい語り口で質問されていたと思います。明るい雰囲気を感じました。
- ・ 本日の提言がその後どうなったか議会だより等で報告してほしいです。
- ・ いきなり渡された大量の資料は何？意味不明である。
- ・ みんな真剣に話し合っていてよいと思った。
- ・ 傍聴者用のトイレが古すぎました（タイルがはがれていて手すりもありません）。
- ・ 年1回は開催するべきだと思います。
- ・ 今度は自分も議論させてもらえるよう今は仕事を一生懸命していきます！
- ・ 議員の質問の姿勢（発言の仕方、少し声を荒げる）、同様に一部市民の態度も見直すべきだと思いました。大人よりも子供の発言の方が分かりやすく時間内で発言していたよかったです。
- ・ 今回の市民の皆さんの発言を、実行に移すのでしょうか？それらの取組の発信を市役所、議員さんはされるのでしょうか？
- ・ お願いしたい案件等がしっかり話せるよう、期待しています。
- ・ 町の清掃はできなくなっている高齢化の状況だが、税金で解決したときに、次の世代の借金になることを伝えてほしかった。それを若い世代に伝え、参加してもらうよう呼びかけてほしい。
- ・ 若い人、児童が見事に発言され、感動した。この場で発表された方々は、浜田の宝と思います。
- ・ この提案のその後は、どこがどうやって取り組んでいくのか。取り組む必要がないとなると、その判断の根拠は何なのか、知りたいです。その知る機会を作っているのでしょうか？子どもの権利条約取り上げてください。
- ・ 発言者の人数が多かったので、1人5分間の持ち時間（仕方ないこと）でしたが、もう少し聞きたいと思う内容もありました。本日の意見について、どのように返答（実行）をされるのか楽しみにしています。
- ・ 質問内容をしばって数回でも開いてほしい。
- ・ 浜田市の人口減少に対する危機感を発言する人もいた。
- ・ 今回の議会、その後の動きに注目しています。
- ・ 素晴らしい企画でした。特に学生や中高校生が堂々と弁論する姿は、それだけで熱くなるものがありました。一方、市の施策や姿勢を批判することは全然ありだと思えますが、批判の度合いが非常に強い場合に、市側に反論の機会が与えられないのは、少し気の毒に感じました。

(3) 議会への期待

- ・学習スペースの設立
- ・議員個人にはなかなか意見、提案を伝えることが難しい中で1度に聞いていただける事はこれからの開かれた議会として同感するものである。
- ・これからも私たち市民のため、住みやすい町づくりをお願いします。
- ・議会がやっていることと、議員が思うことが伝わらないので、ホームページなどで個々の活動を紹介してほしい。
- ・今後も時間をとっての対話。
- ・遊び場を作ってほしいです。
- ・ぜひごみステーションの政策を進めてほしいです。
- ・陳情とかわらないので、陳情をすすめたらどうか？

- ・今日の発言に限らず、市民の小さな意見が活かされる議会運営。
- ・定期的に開催してください。
- ・一日議会の発言内容について必ず実現する必要がある。そうしないと意味がない！
- ・発言した意見についてどうなったか発言者に報告してほしいと思います。
- ・意見に対する議員の発言が固定している（片寄っている）。
- ・浜田市のために引き続き動いちゃってください！
- ・同様な会の頻度を上げてほしい。
- ・議員の方々と直接お話をすることが、昔と比べて少なくなっています。もっと会話をもちたい。
- ・発言されない議員さんのご意見を聞きたい。後でも聞ける仕組みか、後日各位の意見をネットで公開など。
- ・録画の内容を公開されたら、メールなどで連絡してほしい。
- ・イベント的に開催するのみでなく、具体的に政策として取り組んでほしい。
- ・ぜひ市民の声を活かす方向で取り組んでほしいです。
- ・質問されない議員さんもおられました。
- ・市民の意見をどれほど取り入れているか。
- ・市民の声を聞いて、その後の回答も聞いてみたいです。

2 議員の感想・改善点

(1) 感じたこと、感想

三浦	多くの方々が街のことを考えておられることが見える化できてよかった。継続すべき活動。いずれも実生活の中での気づきから、検証、考察まで論理立てた発言内容で大変感心した。
沖田	初めての試みだったのでどうなるかと思ったが、発言者がものおじすることなく堂々と発言しているように思えた。要望のみ、市政に対する不満のような内容も非常に少なく、様々な専門性を持った意見が多く聞いたことはとても良い刺激にもなった。発言された皆さん、それぞれの思いを議場で発言し、議員と意見を交わすことで議会をより身近に感じてもらえる良いきっかけになったのではないかな。
西川	予想より多くの応募があり、市民の関心の高さに驚いた。発言内容も多岐にわたり、議会として非常に参考となるご意見を聴けてよかった。今回の運営について検証して、今後も継続すべき。
村武	17人の市民の方からしっかりとした意見を聞くことができ、非常に良かったと思う。短い時間に自分の意見をまとめられ、素晴らしい。議会報告会などでは、あそこまでの意見を聞くことができない。
川上	多様な発言者の意見に刺激を受けた。ご自身が経験されたこと、気になったことなど、市民目線での発言であり、本来議員が課題として取り上げるべきことばかりであった。議員も多様な視線から現在の浜田市を見直すべきとの啓示を示していただいたものとして受け取り、課題を自分事として解決または改善しなければならない。新しい情報を得ることができるこのような機会は継続すべき。
柳楽	様々なご意見、ご要望を伺えたことは大変良かった。また、参加された市民の中には、この日のために調査研究を行われるなど、真剣に望まれたものと感じた。若い方、特に学生の参加もうれしく思った。
串崎	17人は、多い。計画通り10人程度。議員の質問が長い。
小川	予定を大きく上回る応募者数からも市民の関心の高さが感じられた。提案内容も洗練されており市民意識の高さも伺えた。特に中・高、大学生の堂々と発表する姿に、後輩の皆さんはカッコ良さを感じてくれたと思う。良き手本となり、目標にもなり得たのではないかなと思う。学校での課題探求学習が、実際の議会の活動や行政と結びつくことで大きな飛躍となり、学生模擬議会などの取組とは違った実践的なふるさと郷育にもなり得うと思った。議会にとっても市民にとっても良い刺激となり、今後のまちづくりにもつながる

	契機になったのではないかと思います。市民参加の新たな形ができたことは、大変評価できる画期的な取組であり、継続していく方向でさらに検討を加え、充実させてほしい。
野藤	参加者が議会を身近に感じてもらえたことは良い。
上野	いろいろな角度から浜田のことを思っって発言され、特に学生の想い、移住してこられた方の考えが聞けて良かった。次の一般質問で取り上げたい。
飛野	初試みとしては（対応策を除く）成功と評価する。広報（CATV、まちづくりセンター、公用車ステッカーなど）も良く、若者の参加も多く新鮮な雰囲気だった。一次産業（林業、農業、水産業）の参加がなく考えさせられる要素となった。
笹田	意見、質疑は時間的には問題ないと感じた。
布施	これまでの議会報告会や地域井戸端会議と違って、年代別や男女を問わず日頃の疑問点や自分が思っている事に対して意見が堂々と言えることは立派で、良い取り組みである。特に中学校や高校生の質疑は大したものであった。よって、今度実施するのであれば、小中高生対象や女性に限ると市民一日議会が発展するのではないかと感じた。
岡本	目的が理解できない。条例で定める議会報告会より上位の位置づけとされるなど勘違いされる可能性を危惧。
芦谷	市政への市民参加、幅広く意見などを拾い上げる点でよかった。議会との姿勢としても。
永見	今回の一日議会、参加された方々の浜田市に対しての思いや要望について理解できて良かった。
佐々木	提案者が堂々と発表されていたことに驚いた。提案内容について熱心に調査研究をされている方もいてとても共感できるものだった。
道下	初めての事業だが、とてもよかったと感じた。議会広報広聴委員会の苦労を労いたい。
田畑	市民のいろいろな考え方があって非常に良かった。
西田	市民と議員の距離が近くなった。市民の多様な考えが議員に刺激を与えた。政策に反映できそうな提案があった。継続すべき事業。アレンジを入れてもよい。若い人の考えは特に新鮮味がある。協働のまちづくりに通じるものがあった。
澁谷	市民の皆さんの提案は、それぞれ立派なものが多かった。
西村	途中経過で応募者数が4人と聞いたときはどうなることやらと案じたが、市民の思い・願いに沿った企画であったことは、結果（応募者数）が物語って

	<p>いる。正副委員長をはじめ、委員会の熱意に、ご苦勞に対し、賞賛と労いの言葉を送る。おつかれさまでした。</p> <p>応募者数 18 人の内訳も男性 10 人、女性 8 人と男女比のバランスもよく、また、年代的にも 10 代～80 代と万遍なく応募があり、結果的には理想に近い参加状況ではなかったかと感心している。</p> <p>内容的には、自らの日常生活を通じて感じた事柄から想を得た意見・話が多く、その点でもよかったように感じた。ただ、持ち時間 5 分をかなり残した発言者もいたようだが、どんな内容でも 5 分程度要するのは当然であり、その点では平面的な印象を受けた話もいくつかあったように思う。逆に、5 分をかなり超えた話の中には、発言用の原稿を用意していないのではと思える人もあり、冗長な印象が残る発言もあったように思う。</p>
牛尾	市民参加の新しい切り口として喜ばれたと思う。

(2) 気になった点、改善すべき点

三浦	<p>発言時間：5 分は概ね適当では。質問時間もうまく使えば 10 分という時間は十分。</p> <p>質問時間：時間も短いため、発言内容の意図の確認や、今後具体的にどのようなしたいか、あるいはしていったら良いかなど、発言者の意図をより汲み取ろうとするものが適している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18 名の方々の応募状況について、見込みを上回るものであった。議員からの働きかけも含め、告知活動は合格点では。学生向けの案内も効果的。 ・今後の取り扱いがポイント。どのように対応するかは全協後速やかに伝え、対応すること。 ・配布資料の分量、配布方法等に関するルールは、犬山市議会などを参考にしてみ直しが必要。
沖田	<p>質疑と応答の時間が 5 分は少し短いように思えた。同じ 5 分でも発表者の意見としての持ち時間であれば良かったように思った。応答の持ち時間がもう少し確保できればと思う。</p>
西川	<p>参加人数について、今回は初めてということで応募者全員を受け付けたが、今後は継続を前提に各回 10 人程度としたほうが当日の時間や、後日の議会としての対応には適当だと思う。</p>
村武	<p>出られた方は、理解していると思うが、傍聴された方や、動画を見られた方から、この意見の取り扱いについて聞かれたので、周知が必要だと感じた。</p> <p>今回は初回だったので、応募者全員に出ていただいたが、今後実施する場合</p>

	は、時間の関係もあるので決められた人数で行うほうが良いと思う。
川上	流れは良かったが、質問機会が不足したように感じた。発言内容に対する事前の調査研究が議員側に不足していたと感じた。発言に対して的外れな質問が見受けられ、発言者を困惑させることは避けるべき。市民のご意見を傾聴する姿勢が大事であり、発言者を攻撃するような質問が出た場合は、議長の裁量で抑えることが今後必要。
柳楽	発言の時間は良かったが、質疑は今回のように議員の主観などが入れば長くなってしまい、質問できなくなることから、あくまでも発言内容に対して端的に尋ねるほうが良いと思う。
串崎	最初、議会広報広聴委員長が挨拶をするべき。
小川	質疑時間の効果的、有効的な活用の工夫が必要である。 出された意見について、市民提言として受けとめるという認識が必要ではないかと思う。 その上で、基本的には3常任委員会に振り分け、その後の対応については担当委員会が責任をもって行うことでどうか。会派又は個人として取り組みたいとの希望がある場合や、複数の委員会にまたがるテーマの場合の調整、発表者への経過、結果報告のスケジュール等は議会広報広聴委員会が行った上で素案を作成し全員協議会で承認するようにしてはどうか。 個別の意見に対する対応策については大枠の流れや仕組みが決まった上で、その枠組みの中で検討すべきと考える。
野藤	当初の参加人数を変更した点は気になる。今後継続する時には、注意が必要。事前の発言内容と違う事を言う発言者がいた。ルールは順守してもらいたい。議員側の準備も時間が不足していたのではと感じるところがあった。
上野	学生と大人、別の日にしてはどうか。
飛野	初試みのため担当委員会では相当尽力されたと推測するが、当日もう少し「議会広報広聴委員会」を前面に出したほうが市民に受けたのではないかと思う。
笹田	学生に特化してもいいのではないかと感じた。
布施	市民一日議会のルールを明確にし、市民の発言者に対してルール説明は必要であるが、広聴して質疑する議員がルールを守らないのは、退場させるべきである(ヤジやチャチャを入れる議員がいた) 市民の意見を聞いて感想だけ言う場なのか、質問に対して執行権のない議員として、率直に聞く事、アドバイスを含め質疑する事がいけないのかルールを決めるべきだ。 質問した議員を上から目線や回数が多いと非難するより、質問しない議員は

	<p>良いのか。</p> <p>10名までというチラシまで作って、議員に配布して参加人数をお願いされたが、最終的には予定数が2倍近くなった。これからも、実施されるのであれば、参加人数制限なしで朝から、2日間かけても良いからすべき(前例をつくったので、覆すのは?)。また、あくまでも人数制限するのであれば、抽選をするべきである。</p>
岡本	<p>進行と運営について具体的な説明がなかったと思っている。(質問回数の多さを指摘されたが)</p> <p>定数が定められた状況から追加された理由を質す。(発言者選定に課題が残る)</p>
芦谷	<p>意見などをどう市政に反映させるか、全体の流れや提案後の着地をどうするか、執行部も交えた議会での合意づくりが必要。</p>
永見	<p>なし。</p>
佐々木	<p>なし。</p>
道下	<p>市民と議会との意見交換のキャッチボールが聴いている人により分かりやすいように行われればより良い会議になると感じた。</p>
田畑	<p>決められた時間を守ってほしい。</p>
西田	<p>発言時間5分は良かったが、議員との質疑は内容によっては少ないと感じた。</p> <p>議員側からの質問は担当委員会や議員の専門性を考慮し、多くの議員が質問できるとさらに良いと思う。</p>
澁谷	<p>次回からは、議員の質疑はやめたほうが良い。</p>
西村	<p>今後、同様の企画をするのであれば、参加者に持ち時間を意識した原稿の作成を要請したほうが良いように思った。その際、23人(次期からは21人)の議員が、原稿づくりのアシスタントとして、参加者1人につき1人の議員がついて支援・指導するのも面白いかなと感じた。</p>
牛尾	<p>議員の質問は次回参加の意欲低下にならないようにすべき。</p>